平成25年11月18日

関係各位

長崎女子高校バスケットボール部
監　　督　田　口　裕　也
コ　ー　チ　小　磯　典　子

平成２５年度　長崎地区高等学校新人体育大会結果報告

１　場　　所　瓊浦高等学校、純心高等学校
２　期　　間　１１月１６日（土）、１１月１７日（日）
３　試合結果　別　記
４　詳　　細

選手プロフィール						1回戦	瓊浦			2回戦	長崎南			準決勝	長崎商			3決	純心			-				備考
#	名前	年	身長	出身			時間	点	F		時間	点	F		時間	点	F		時間	点	F					Note
4	森　塚	②	162	南島原市	布　津		26	1	0		21	13	2		33	10	1		17	5	1					
5	古　賀	②	164	南島原市	布　津	s	30	7	2	s	33	14	3	s	30	6	4	s	32	2	1					
6	森	②	162	長崎市	小江原	s	21	8	2	s	26	12	0	s	29	9	1	s	39	9	4					
7	小　林	②	163	南島原市	布　津		4	0	0		13	4	2		4	0	1		0	0	0					
8	糸　山	②	141	長崎市	片　渕		2	0	0		2	3	0		0	0	0		0	0	0					
9	井　手	②	151	諫早市	飯　盛		2	0	0		2	0	0		0	0	0		0	0	0					
10	平　田	①	161	長崎市	緑が丘	s	27	13	0	s	28	10	0	s	26	10	1	s	34	13	1					
11	宮　本	①	171	長崎市	淵	s	30	21	5	s	32	24	2	s	37	14	4	s	37	7	0					
12	高　尾	①	159	長崎市	淵		3	0	0		2	0	0		0	0	0		0	0	0					
13	岩　松	①	163	佐世保市	光　海		14	0	1		3	0	0		2	0	0		4	6	0					
14	渡　辺	①	161	長崎市	三　重		3	0	0		2	0	0		0	0	0		0	0	0					
15	戸　高	①	170	横浜市	山　手	s	35	20	3	s	32	12	1	s	39	3	1	s	37	15	4					
16	梶　山	①	165	佐世保市	光　海		3	0	0		4	0	0		0	0	0		0	0	0					
17																										
18																										
					1P		15	6			25	16			13	19			20	20						
	左：長崎女子				2P		19	11			22	11			6	23			14	19						
	右：相手チーム				3P		14	19			23	16			13	17			9	22						
					4P		22	11			22	22			20	24			15	26						
	○=勝ち　●=負け				計	○	70	47		○	92	65		●	52	87		●	57	87					

５　所　　感

１６日

瓊浦戦：初戦の硬さがあったという訳ではなく、力の出し方に問題があった試合でした。試合を通して簡単なミスが多く、集中力が途切れてしまう場面が多く出てしまいました。また、リバウンドやルーズボールでの競り合いや仲間のディフェンスをカバーする意識が少ない所など浮き彫りになった反省点が多く見つかりました。

長崎南戦：少しではありますが、前の試合の反省点を修正できた部分がありましたが、満足できる内容ではありませんでした。良かった点は、ディフェンスが成功し、速い展開のオフェンスにつなげる形が出せた時間があったことです。課題としては、試合の中でチームの状態がどういう状態であるかを選手一人一人が考え、自分の役割を見つけていくことです。今後の戦いでは必要不可欠な力だと思います。

最終日

長崎商業戦：相手の攻守の切り替えの速さについて行くことができませんでした。また、リバウンドやルーズボールでの競り合いに負けていた所や基本的な技術の差も大きな敗因でした。

純心戦：前半できていたインサイドを使った戦いが後半できませんでした。インサイドへのパスを入れる過程でのミスが多く、上手くいかなくなって一人一人が何とかしようとバラバラでオフェンスしてしまい、チームとして同じ考えでオフェンスを展開することができませんでした。加えて、相手の持ち味である、ディフェンスの上手さやパス回しの速さを第３クォーターに発揮されてしまい差をひろげられてしまいました。ですが、反省点が多かった中、模索中の目指していくべきチームの形が少し見えた部分もありました。

今大会を通して様々な勉強ができ、次への課題を見つけることができました。私も選手も「これではダメだ」と強く感じることができた大会でした。１番の課題は基礎基本の見直しです。その中でチームが同じ方向をしっかり向いてバスケットに取り組んでいきたいと考えます。

４位という結果をしっかりと受け止め、前に進んでいけるように今後とも努力したいと考えております。

文責：田口　裕也

平成26年1月22日

関係各位

長崎女子高校バスケットボール部
監督　田口裕也
コーチ　小磯典子

平成２５年度　長崎県高等学校新人体育大会　結果報告　最終日

１　場　所　佐世保西高校・小佐々スポーツセンター
２　期　間　平成２６年１月１８日（土）・１９日（日）・２０日（月）
３　試合結果　別　記
４　詳　細

選手プロフィール						1回戦			2回戦	諫商		3回戦	鶴洋		4回戦	諫早		準決勝	長西		3決	純心		備考
#	名前	年	身長	出身		時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	Note
4	森	②	162	長崎市	小江原				s 36	18	3	s 10	3	0	s 38	8	1	s 19	2	1	22	3	1	
5	古賀	②	164	南島原市	布津				s 34	8	2	s 12	10	1	s 33	18	2	s 19	4	3	s 32	11	3	
6	森塚	②	162	南島原市	布津				s 33	18	2	s 11	5	0	s 19	14	3	s 33	7	2	s 19	6	1	
7	小林	②	163	南島原市	布津				1	0	0	19	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8	糸山	②	141	長崎市	片浦				1	0	0	12	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9	井手	②	151	諫早市	飯盛				1	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	平田	①	161	長崎市	緑が丘				16	7	0	19	12	0	31	5	2	21	7	0	s 35	6	3	
11	宮本	①	171	長崎市	淵				s 34	15	2	s 17	16	0	s 23	12	5	s 37	15	1	s 24	4	0	
12	高尾	①	159	長崎市	淵				0	0	0	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13	岩松	①	163	佐世保市	光海				15	4	0	21	15	2	27	10	1	30	8	0	26	9	0	
14	渡部	①	161	長崎市	三重				0	0	0	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15	戸高	①	170	神奈川県	横浜山手				s 33	14	2	s 22	15	3	s 24	8	3	s 37	15	1	s 30	13	2	
16	梶山	①	165	佐世保市	光海				7	0	0	27	15	0	5	0	0	4	4	0	12	0	0	
					1P				15	24		28	13		19	12		14	27		15	22		
	左：	長崎女子			2P				19	8		31	12		21	16		7	17		14	26		
	右：	相手チーム			3P				30	14		29	10		16	15		11	28		12	27		
					4P				20	15		20	13		19	11		30	31		11	17		
	○＝勝ち　●＝負け				計				○ 84	61		○ 108	48		○ 75	54		● 62	103		● 52	92		

５　所　感

初日

調整不足やアップ不足、試合の入り方の大切さに対しての意識の低さなど様々な要因が重なり、大変出来の悪い試合でした。良いところを探すのが難しく、もう少し立て直しが遅かったら結果が変わってしまっていたというような試合内容でした。明日の試合では、アップや試合の入り方の大切さをしっかりと反省し、試合に臨みたいと思います。

２日目

鶴洋戦：試合の入り方の課題は、昨日より改善がみられたのですが、まだまだです。ですが、試合全体で考えると反省をいかし、全員で戦うことができてきたように思います。まだまだプレーに対する甘さが目立ちますが、選手たちのなかにも短時間の間でしっかりと力を発揮できたという満足感が芽生えたのではないかと思います。この戦いがバスケットボールに対しての意欲につながってほしいと思いました。

諫早戦：試合の入り方は良かったものの、集中力の持続、ミス多さやミスの後の動きに課題が多く残りました。「チーム全員で相手ディフェンスを崩して得点する力」を身につけていかなければいけません。

最終日

長崎西戦：勝っているところは一つもありませんでした。力の差をまじまじと見せつけられた試合内容でした。特に「一人一人の基礎基本」、「戦いに臨む姿勢」、「難しい局面を乗り越える精神的な強さと技術」の部分に大きな差があったように思います。悔しいですが、現状での差は、思っていた以上のものでした。

純心戦：純心の激しいディフェンスの前にボールを運べず、運んでもミスの連続で得点がとれません。勝っているはずのサイズ面での優位性も出すことができませんでした。致命的だったのは、ドリブルの技術ではなく、ボールをもらう技術が定着していないという点でした。練習の組み立てにおいて早急に見直しが必要です。今後同じ思いを選手達が感じずにすむように徹底的に見直していきます。また、難しい局面において、声を出してチームの士気を上げたり、「勝つんだ」という強い気持ちを前面に出してプレーできる選手の育成も必要不可欠だと痛感しました。

九州大会に向けて、時間は少ないですが、一つ一つ丁寧に課題を整理していきたいと思います。また、応援してくださる方々のお気持ちに報いるためにしっかりと頑張っていきます。　文責：田口

平成25年4月22日

関係各位

長崎女子高校バスケットボール部
監　　督　田　口　裕　也
コ　ー　チ　山　崎　純　男

平成２５年度　長崎県高等学校バスケットボール春季選手権大会結果報告（最終日）

１　場　　所　西海学園・佐世保工業高校・小佐々スポーツセンター
２　期　　間　４月２０日（土）ー２２日（月）３日間
３　試合結果　別　記
４　詳　　細

選手プロフィール						1回戦 不戦勝			2回戦 大村				3回戦 佐商				4回戦 島原				準決勝 純心				3決 長商				備考
#	名前	年	身長	出身		時間	点	F		時間	点	F		時間	点	F		時間	点	F		時間	点	F		時間	点	F	Note
4	釣屋	③	163	佐世保市	光海				1	10	0	0		27	21	3		30	12	1		40	22	0		40	18	4	
5	木原	③	172	長崎市	西浦上				3	10	8	1		20	14	0		16	4	0		34	19	3		3	0	0	
6	山下	③	153	佐世保市	光海				1	10	2	0		31	8	3		30	16	0		31	6	0		40	8	4	
7	山中	③	161	長崎市	滑石				1	10	6	1		27	14	2		16	7	1		22	7	1		40	8	4	
8	高尾	①	159	長崎市	淵				2	20	0	1		1	0	1		4	0	0		0	0	0		0	0	0	
9	平田	①	161	長崎市	緑が丘				3	10	4	3		0	0	0		6	2	0		0	0	0		0	0	0	
10	古賀	②	164	南島原市	布津				3	10	0	0		9	0	1		1	0	0		0	0	0		0	0	0	
11	森	②	162	長崎市	小江原				3	10	5	0		23	9	3		13	9	0		28	2	0		0	0	0	
12	小林	②	163	南島原市	布津				3	10	4	1		1	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
13	宮本	①	171	長崎市	淵				1	20	12	1		40	18	3		22	4	0		39	9	0		37	8	2	
14	岩松	①	163	佐世保市	光海				2	20	11	2		0	0	0		10	2	1		0	0	0		0	0	0	
15	川口	③	179	長崎市	岩屋				1	10	11	0		20	9	0		23	17	1		6	2	1		40	4	0	
16	戸高	①	170	横浜市	山手				2	20	18	0		0	0	0		9	6	1		0	0	0		0	0	0	
17	梶山	①	165	佐世保市	光海				2	20	14	2		1	0	0		10	2	1		0	0	0		0	0	0	
18	渡辺	①	161	長崎市	三重				2	10	2	0		0	0	0		10	4	1		0	0	0		0	0	0	
					1P					21	12			25	16			21	10			22	25			11	14		
	左：長崎女子				2P					23	16			20	17			21	9			16	11			15	10		
	右：相手チーム				3P					21	17			25	5			27	11			13	14			12	21		
					4P					32	17			23	12			16	24			16	22			8	25		
	○=勝ち ●=負け				計				○	97	62		○	93	50		○	85	54		●	67	72		●	46	70		

５　所　　感

初日

スタメンの3年生の出来がさんざんでした。スポーツをする上で重要な「心・技・体」の中の「体」も「技」も問題ないのですが、「心」の準備が出来ていなかったように思います。日頃指摘されている問題点が露呈した試合内容でした。ですが、収穫もありました。１年生の梶山の目が他の選手と違うのです。真剣さとひたむきさがひしひしとこちらに伝わってきました。観る人に感動を与えられるチームとは、コート上の５人だけでなく、ベンチメンバーも含めた全員が彼女のような目で試合に臨むチームのことを言うのだと思います。さて明日は…何人がそんな目で試合会場に現れるのでしょう？

2日目

釣屋は昨日の自分を猛省して今日の試合に臨んだのでしょう。気合が入っていました。ですが、それに呼応することができるような選手がなかなか出ません。入れ替わりたちかわり、誰かが単発では「おっ、いいぞ」というプレーをするのですがそれが長続きしないのです。釣屋以外にあと１人でいいから目付きが違う選手が出てくれば、チームは大変身すると思うのですが…。自覚でしょうか自負心でしょうか…。

最終日

今日の２試合、頑張る仲間に呼応するどころか、大事な局面で他人任せにしてしまう状況が多く見られました。純心戦は完璧ではないにしろ持ち味を出すことができた末の敗戦でした。ですが、敗戦のショックからか３決の長崎商業戦では、単発の「おっ、いいぞ」すら起きなくなり、為す術なく敗れました。ディフェンスでもオフェンスでも何も起きません。本当の意味で戦っている選手が５人揃わないのです。今日の試合では、選手が自分自身の内面の弱さに打ち勝つことができませんでした。１からの出直しです。

平成25年6月4日

関係各位

長崎女子高校バスケットボール部
監　　督　田　口　裕　也
コ　ー　チ　小　磯　典　子

平成２５年度　長崎県高等学校総合体育大会結果報告（最終日）

１　場　　所　西陵高校、シーハット大村
２　期　　間　６月１日（土）ー６月４日（火）４日間
３　試合結果　別　記
４　詳　　細

選手プロフィール						2回戦 西陵			3回戦 長崎東			4回戦 西海			決勝ﾘｰｸﾞ 長崎西			決勝ﾘｰｸﾞ 純心			決勝ﾘｰｸﾞ 長崎商			備考
#	名前	年	身長	出身		時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	Note
4	釣　屋	③	163	佐世保市	光　海	s 14	8	1	s 13	13	2	s 33	17	1	s 33	14	3	s 37	14	1	s 32	15	3	
5	木　原	③	172	長崎市	西浦上	s 12	16	0	s 12	13	2	s 29	11	4	s 30	14	3	s 36	5	1	s 1	0	0	
6	山　下	③	153	佐世保市	光　海	s 13	5	0	s 13	12	1	s 32	16	2	s 38	2	4	s 35	17	2	s 40	12	2	
7	山　中	③	161	長崎市	滑　石	s 17	2	0	s 12	9	0	s 35	18	3	s 37	4	4	s 37	13	4	s 38	13	3	
8	村　岡	③	168	長崎市	梅香崎	10	4	0	10	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9	古　賀	②	164	南島原市	布　津	13	6	0	13	6	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	森	②	162	長崎市	小江原	14	10	0	15	12	2	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
11	小　林	②	163	南島原市	布　津	20	3	2	14	8	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
12	宮　本	①	171	長崎市	淵	15	8	1	15	11	0	22	10	0	24	8	2	15	2	3	35	20	5	
13	戸　高	①	170	横浜市	山　手	15	4	1	17	8	0	5	2	1	0	0	0	0	0	0	6	2	1	
14	岩　松	①	163	佐世保市	光　海	13	12	0	13	8	0	4	4	0	0	0	0	6	0	0	5	0	1	
15	川　口	③	179	長崎市	岩　屋	s 14	16	0	s 15	15	0	s 24	9	1	s 38	16	2	s 34	21	4	s 39	7	2	
16	梶　山	①	165	佐世保市	光　海	12	8	1	20	16	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17	糸　山	②	141	長崎市	片　渕	9	7	2	11	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18	井　手	②	151	諫早市	飯　盛	9	2	0	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	左：長崎女子 右：相手チーム				1P	35	11		35	6		25	12		16	15		8	14		17	17		
					2P	26	10		32	8		26	12		12	13		22	19		13	19		
					3P	33	7		49	8		10	15		15	21		16	25		18	16		
					4P	17	23		33	14		32	22		15	8		26	13		22	22		
	○=勝ち　●=負け				計	○ 111	51		○ 149	36		○ 93	61		○ 58	57		○ 72	71		● 70	74		

５　所　　感

初日

第4シードのため2回戦からの試合となりました。

初戦となる今日の試合では、「3年生の想い」をテーマに掲げて臨みました。それは、選手達の「心・技・体」でいうところの「心」のレベルを高めたかったからです。現チームの3年生は、マネージャー1人、スタメンの5人、サブメンバー1人という計7人。この7人の「心」のレベルアップが、そのままチームのレベルアップに繋がると思ったからです。そのため、私が一番大切に考える第3クォーターの大半を、スタメンの5人とサブメンバーの村岡で戦いました。選手起用でのコーチからのメッセージを何人の選手が理解してくれたでしょうか。

2日目

今日の試合で「心」のレベルアップの手応えを感じました。多少の課題はあったものの、明日に繋がる試合ができたと感じています。明日からの決勝リーグでは、練習してきたことを一つでも多く出せるような戦いができればと考えています。

3日目

選手達は、チーム一丸となってすばらしい試合ができました。最高の結果まであと一つ。

最終日

これまでの戦いの流れから、「勝利を掴める」と思ったのですが、長崎商業に惜敗してしまいました。結果は、２勝１敗で長崎西、長崎女子、長崎商業の３チームが並びましたが、ゴールアベレージによって１位長崎西、２位長崎女子、３位長崎商業という結果になりました。「チャンスを掴む」ことはできたと思ったのですが、掴んだチャンスを放さないだけの「握力」が足りませんでした。

今大会、選手達は確実に成長した姿を見せてくれました。これまで支えてくれた人々への感謝の気持ちを忘れず、選手と共に一から出直したいと思います。

文責：田口　裕也

平成25年2月17日

関係各位

長崎女子高校バスケットボール部
監　　督　田　口　裕　也
コ　ー　チ　小　磯　典　子

平成２５年度　全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会　結果報告　最終日

１　場　　所　長崎市民体育館　県立総合体育館
２　期　　間　平成２６年２月１４日（金）・１５日（土）・１６日（日）
３　試合結果　別　記
４　詳　　細

選手プロフィール					1回戦 佐賀北			2回戦 前原			3回戦			4回戦			準決勝			3決			備考
#	名前	年	身長	出身	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	Note
4	森	②	162	長崎市小江原	s 34	4	3	s 26	0	2													
5	古賀	②	164	南島原市布津	s 37	13	3	s 38	13	1													
6	森塚	②	162	南島原市布津	s 28	12	2	s 33	18	2													
7	小林	②	163	南島原市布津	0	0	0	0	0	0													
8	糸山	②	141	長崎市片渕	0	0	0	0	0	0													
9	井手	②	151	諫早市飯盛	0	0	0	0	0	0													
10	平田	①	161	長崎市緑が丘	17	0	0	19	8	0													
11	宮本	①	171	長崎市淵	s 10	6	3	6	0	0													
12	高尾	①	159	長崎市淵	0	0	0	0	0	0													
13	岩松	①	163	佐世保市光海	33	16	1	s 36	17	1													
14	渡部	①	161	長崎市三重	0	0	0	0	0	0													
15	戸高	①	170	神奈川県横浜山手	s 35	11	3	s 28	7	2													
16	梶山	①	165	佐世保市光海	6	0	1	14	0	2													
				1P	10	7		19	27														
	左：長崎女子			2P	18	21		10	14														
	右：相手チーム			3P	14	8		8	26														
				4P	20	15		26	19														
	○=勝ち ●=負け			計	○ 62	51		● 63	86														

５　所　　感

佐賀北戦：　立ち上がりは今までの試合より成長した姿を出せましたが、流れをつかみきれず苦しい時間帯が続きました。一時流れをつかみましたが、すぐに自分たちのミスから相手に付け入る隙を見せ、終盤まで安心して試合を進めることができませんでした。その大きな要因の一つは、精神的なムラにあると感じました。

前原戦　：　互角の戦いができた時間帯もありましたが、試合の多くの時間が相手チームの流れで進んでしまいました。第1～第３ピリオドまで、相手のペースを崩すディフェンスができずにいましたが、第４ピリオドの終盤、プレッシャーディフェンスから展開の速い攻撃ができ、相手にファウルトラブルを起こすことができました。その点がチームとしての収穫だったと同時に、もっと早い時間にファウルトラブルを起こす強さが必要だと思いました。また、試合を通してミスが多く、１試合目と同様の課題も出てきた試合でした。

県新人選の後、①基礎基本の見直し、②チームディフェンスの見直しの二つに取組みの焦点を絞り今大会を迎えました。①についても②についても県新人戦時よりも良い所が多くなりました。ですが勝利につながる試合はできませんでした。その要因は、精神的な面と技術的な面の二つに大きな課題があったと振り返っています。

今大会に出場したチームから、私たちが学ぶべきものは多くあります。多くの強いチームと決定的な差を感じたのは、勝利に向かう闘志と集中力、ボールへの執着心です。強いチームは勝っていても気を緩めません。負けていてもあきらめません。その気持ちが1試合持続します。試合をしている選手達の目や姿勢やプレーからその気持ちが伝わってきます。基本的なことですが、その力は絶対的に強いチームから学ばなければいけないと痛感しました。この力は練習だけでは身に付きません。この力を身につけたいと選手と共に心の底から思い、どれだけ生活におとしていけるかが今後の取組みの鍵になると思います。技術的な面のオフェンスでは、ドリブル・パス・ショットといった基礎基本の質、仲間と連携した合わせのプレーを出す力、ボール運びやリバウンドでのミスを減らしていく事が大きな課題です。ディフェンスでは、ボールを持っている選手へのプレッシャー、抜かれてきた仲間へのヘルプ（ボールを持っている選手を見失い自分のマークマンを追いかけてしまう場面が多かった）に課題がありました。

春季選手権までの期間に、応援してくださる方々のお気持ちに応えられる試合を目指していきたいと思います。そのなかで、一つ一つ課題と向き合い、気持ちを強く持って練習を重ねていきたいと思います。

文責：田口

平成25年6月24日

関係各位

長崎女子高校バスケットボール部
監　　督　田　口　裕　也
コ　ー　チ　小　磯　典　子

平成２５年度　全九州高等学校総合体育大会結果報告

１　場　　所　宮崎市総合体育館・宮崎県体育館
２　期　　間　６月２２日（土）・２３日（日）
３　試合結果　別　記
４　詳　　細

選手プロフィール						1回戦 那覇			2回戦			3回戦			4回戦			準決勝			3決			備考
#	名前	年	身長	出身		時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	時間	点	F	Note
4	釣　屋	③	163	佐世保市	光　海	s 40	15	1																
5	木　原	③	172	長 崎 市	西浦上	0	0	0																
6	山　下	③	153	佐世保市	光　海	s 32	5	3																
7	山　中	③	161	長 崎 市	滑　石	s 35	16	3																
8	古　賀	②	164	南島原市	布　津	0	0	0																
9	森	②	162	長 崎 市	小江原	13	3	1																
10	小　林	②	163	南島原市	布　津	0	0	0																
11	宮　本	①	171	長 崎 市	淵	s 36	18	3																
12	戸　高	①	170	横 浜 市	山　手	4	0	0																
13	岩　松	①	163	佐世保市	光　海	0	0	0																
14	梶　山	①	165	佐世保市	光　海	0	0	0																
15	川　口	③	179	長 崎 市	岩　屋	s 40	29	3																
16																								
17																								
18																								
					1P	26	25																	
	左：長崎女子				2P	17	15																	
	右：相手チーム				3P	20	36																	
					4P	23	18																	
	○=勝ち　●=負け				計	● 86	94																	

５　所　　感

試合については、選手達は現段階で持ちうる力をしっかりと出すことができたと思います。その上で那覇高校の力が勝っていたという試合内容でした。完敗です。対戦相手の那覇高校は１、２年生主体のチームですが、選手１人１人の個人能力が非常に高く、勝負所でのシュートを外しません。何と言っても「ボールを上手く扱う」力で私たちは劣っていました。選手達に真似してほしい動きをたくさん見せて貰いました。私にとっても選手にとっても得るものの大きかった試合でした。

個人的なことに触れると、釣屋はしっかりと練習してきたディフェンスを出し、リーダーシップを発揮してプレーできていました。山下は持ち味である運動量を発揮し、前線から積極的なディフェンスができました。山中は自分の中の恐怖心に打ち勝ち、物怖じすることなく勝負所でドライブインプレーにチャレンジしていました。宮本は、１年生とは思えない活躍をしてくれました。川口はついこの間まで参加しようとしなかったオフェンスに積極的に参加し、チームの得点の３分の１を取りました。交替で入った森は、県大会の時よりチャレンジする姿を見せていました。１人１人課題は多くありましたが、良いところのない試合では決してありませんでした。

今大会では、勝利を目指してプレーすることの他に、今後のチーム創りにとって良い材料を集めに行くというテーマがありました。その材料を、私を含めたチーム全員が持ち帰れたと思っています。今回持ち帰ってきた材料を加えて、これからのチーム創りを見直していきたいと考えています。

今後特に強化していきたい課題は、①ディフェンスの強化②シュートを打つまでの場面作り③シュートの精度を上げる、という３点です。とにかくウインターカップ県予選まで時間がありません。時間を有効に使い、この夏場の練習を有意義なものにして、ウインターカップ県予選まで準備をしていきたいと思っています。

文責：田口

平成25年10月21日

関係各位

長崎女子高校バスケットボール部
監　　督　田　口　裕　也
コ　ー　チ　小　磯　典　子

平成２５年度　第４４回全国高等学校選抜優勝大会長崎県予選会参加について（報告）

１　場　　所　小佐々スポーツセンター（Ａ・Ｂコート）　他佐世保地区全７会場
２　期　　間　１０月１２日（土）・１９日（土）・２０日（日）
３　詳　　細

選手プロフィール						1回戦 不戦勝			2回戦 不戦勝			3回戦 大村				4回戦 明誠				準決勝 長商				決勝				備考
＃	名前	年	身長	出身		時間	点	F	時間	点	F		時間	点	F		時間	点	F		時間	点	F		時間	点	F	Note
4	釣屋	③	163	佐世保市	光海							s	10	9	1	s	15	11	2	s	14	2	1					
5	木原	③	172	長崎市	西浦上							s	10	2	1	s	15	12	0	s	28	8	4					
6	山下	③	153	佐世保市	光海							s	6	4	0	s	15	9	0	s	37	15	3					
7	山中	③	161	長崎市	滑石							s	10	3	0	s	15	4	1	s	32	5	2					
8	古賀	②	164	南島原市	布津								19	10	0		17	11	1		2	0	0					
9	森	②	162	長崎市	小江原								18	15	0		18	4	1		0	0	0					
10	小林	②	163	南島原市	布津								14	4	2		9	0	2		0	0	0					
11	森塚	②	162	南島原市	布津								0	0	0		0	0	0		0	0	0					
12	宮本	①	171	長崎市	淵								16	19	2		20	4	2		27	10	2					
13	戸高	①	170	横浜市	山手								17	10	1		20	10	1		24	3	1					
14	岩松	①	163	佐世保市	光海								19	14	2		13	2	0		0	0	0					
15	川口	③	179	長崎市	岩屋							s	10	13	1	s	15	12	1	s	27	10	0					
16	梶山	①	165	佐世保市	光海								19	6	0		5	0	0		0	6	0					
17	平田	①	161	長崎市	緑が丘								22	15	2		7	11	2		9	4	1					
18	糸山	②	141	長崎市	片渕								10	0	1		6	2	2		0	0	0					
					1P								30	11			38	10			17	18						
	左：長崎女子				2P								29	20			14	18			12	24						
	右：相手チーム				3P								34	12			17	13			12	14						
					4P								31	15			23	16			16	16						
	○=勝ち ●=負け				計							○	124	58		○	92	57		●	57	72					

４　所　　感

１９日

２試合とも３年生が試合を作り、１・２年生がその中で頑張るという目指していた形で試合を進めることができました。練習してきた速い展開につなげる場面も多く見えました。ですが、ディフェンスのポジショニングやリバウンドに課題が残りました。明日に向けて再確認して臨みたいと思います。

最終日

試合の出だしは３年生の頑張りで互角の戦いができていましたが、第２クォーターから長崎商業のボールへの反応の速さと展開の速い攻撃にディフェンスの対応が遅れてしまいました。前半に１３点のリードを許し、追いかける苦しい展開の試合となってしまい、山下を中心に速い展開を作ろうとしたのですが、追いつくことができませんでした。大黒柱の釣屋は、国体のスタメンと自チームのリーダーという両方の役割をしっかりと果たし、試合中膝を傷めながらも、最後までチームに勇気を与え強気でプレーしてくれました。山中は、鋭いドライブインプレーを繰り出し、木原はリバウンドで貢献してくれました。また、山中と木原は、国体期間中チームをしっかりと引っ張ってくれました。ケガが完治しないままプレーした川口のスケールの大きな攻撃や、山下の攻守の渡る活躍などそれぞれの持ち味を発揮し、最後まで勝負を捨てませんでしたが、１５点差という結果になってしまいました。
１・２年生は３年生の後ろ姿がしっかり目に焼き付いた試合だったと思います。

年度の途中に指導者が替わるという大きな環境の変化のなか、未熟な指導であった私に最後までついてきてくれた３年生の選手の精神力と保護者の皆様のサポートには深くお礼申し上げます。今回の結果で多くのご意見をいただきました。真摯に受け止め、新チームの選手と共に努力を重ね成長していきたいと思います。

最後になりましたが、今まで応援してくれた方々にも深く感謝いたします。ありがとうございました。

文責：田口　裕也